令和３年度（第 60 回）農林水産祭むらづくり部門受賞団体の概要

【農林水産大臣賞受賞団体（代表者）】

●遊子川地域活性化プロジェクトチーム「遊子川もりあげ隊」〔愛媛県西予市城川町〕（会長　浦田 達徳）

（１）むらづくりの背景・動機

遊子川地区は、少子高齢化・過疎化の進展に伴い、介護、後継者不足、公共交通機関、道路や農林値の維持管理、冠婚葬祭や地域伝統文化の保全伝承等にさまざまな問題を抱えていた。

平成 22 年に「このままでは地区が消滅してしまう」と地域の危機的状況を危惧して、遊子川地区住民全員で構成する地域づくり組織「遊子川地域活性化プロジェクトチーム『遊子川もりあげ隊』」を結成。

「遊子川集落づくり計画書」を策定し、福祉、生活環境の向上、生産活動など地域が抱えるさまざまな課題に取り組み始めた。

（２）むらづくりの内容

①　生産面における取組

トマト農家女性たちを中心に「遊子川特産品開発班」を発足。地域特産品「トマト」の規格外品トマトを活用した「トマトユズポン」や「トマトケチャップ」などを開発し次々に商品化。同時に農家レストラン「食堂ゆすかわ」をオープン。一層の事業成長や販路拡大に向け「企業組合遊子川ザ・リコピンズ」として法人化し、地域農業者の収益確保や雇用の場となっている。また近年は海外輸出や中南米日系女性農業者との交流、コロナ禍では弁当宅配サービスを始めた。

「トマトオーナー制度」や「移住体験ツアー」等に取り組み、３人のトマト栽培就農者を確保するなど、交流人口の拡大と後継者の確保・育成、地域経済の活性につながっている。

②　生活改善の取組

買い物や通院に困難を抱えている住民対策としてのデマンドタクシー運行形態の検討や、草刈りや墓掃除などの有償サービスを提供する「なんでも屋ゆすかわ」を運営し、独居老人など生活弱者が安心して暮らせる生活支援の一助となっている。

また自然を楽しむ「雨包山、春満喫ツアー」の開催による交流人口の拡大と自然環境の維持・改善、「天満神社秋祭り」・「神仏講の習俗」といった様々な行事による祭りや伝統文化の保存・継承は、地域住民が一体となった活動が展開され、地域のつながりの場になっている。